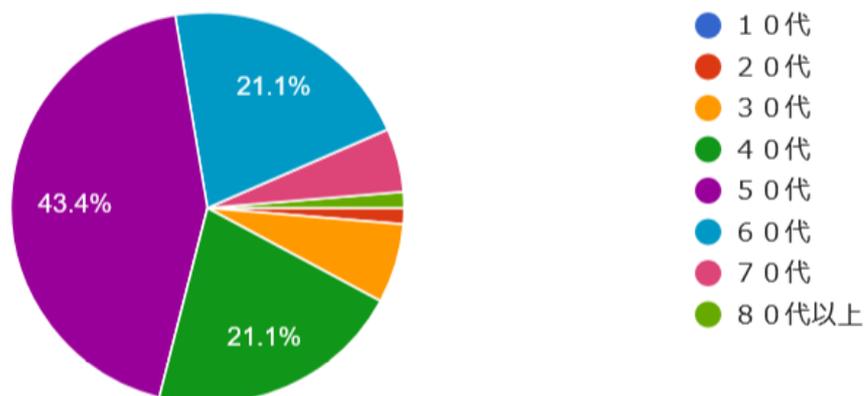


# 共通遊漁券に関するアンケート結果

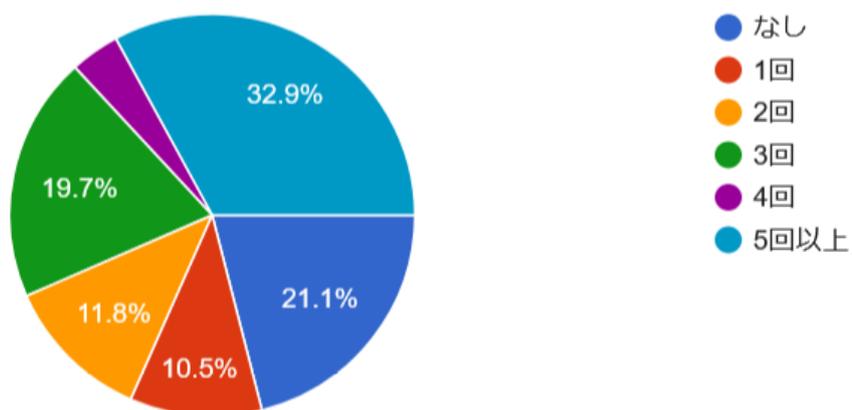
## 年齢

76 件の回答



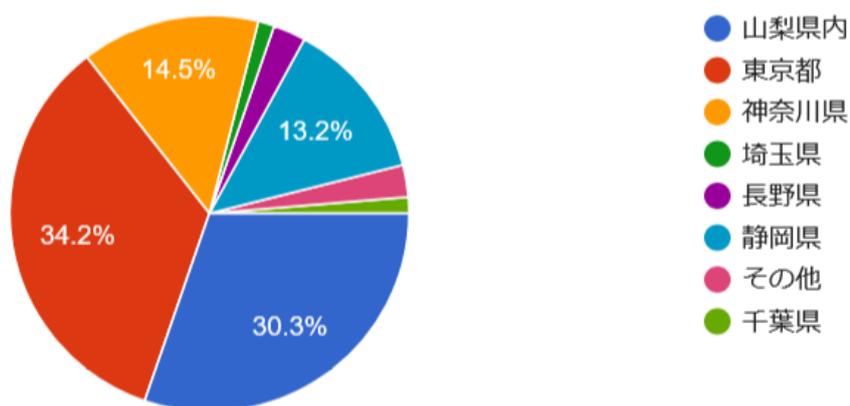
## これまでの購入回数

76 件の回答



## 住所

76 件の回答



## ご意見や要望

- 販売数が少ないです。
- 一昨年に発売日に東京から漁協に行きましたが売り切れで入手できませんでした。東京から限られた時間で行く場合は日釣り券を買うタイミングや販売場所がない場合があり、県内何処でも思い立った場所に入渓出来る券はとても利便性が高いので、券なしで釣りをする人を防ぐためにも入手性をよした方がいいと思う。
- 地元の方は地元の川に行くので地域漁協の年券を購入する方が多いと思うが、東京からの釣り人は臨機応変に山梨県内を行き来するので、本券の所有により、山梨県内の釣り、レジャーの自由度が広がり、山梨県内全体の観光やレジャー(釣りだけでなくキャンプや登山など)においても県外者を呼び込み活性化につながると思う。
- 新潟県は県下共通 13000 円程度でやっており、21000 円から更に値上げになるのかわかりません。共通券の販売数を増やすと各漁協の年券売り上げが下がると言いますが、自分の場合は共通券が買えなくて残念でしたが年券は1漁協しか買いませんでした。別の漁協に行く時は日釣り券を買えばいいと思いましたが、結局面倒なので行きませんでした。共通券売り上げを各漁協に対して還元供給をきちんとやっていたのであれば、東京から行く人が山梨県の漁協に対して支払う金額は確実に増えるし、県魚が地域にきちんと還元すれば確実に潤う方向だと思います。東京の釣り人が釣りに行ける頻度、時間、釣り人口は急には変わらないと思います。”
- 全魚種は、良いけど川と湖とで別々にして料金を安くして欲しい、私は湖でブラックバス釣りかしないので。
- ネット申込み
- 県下共通券は廃止にしたら良いのでは？
- 販売店によっては一般には売ってくれない...また購入者に情報を出していないので購入できない。馴染客のみに情報提供している
- 20年ほど前から毎年購入しておりましたが、前回、前々回と抽選で外れました。来シーズンからは購入しない予定ですが、販売方法を以下の提案に変えるのであれば、また購入したいです。
- 願わくば発行枚数を増やしてほしい。確実に購入できるのであれば多少の値上げは厭わない。
- 今年度、去年度買えませんでした。早朝から並ばないと買えないのは県外者からすれば不公平と思います。
- 販売方法にしても要望を満たさないなら撤廃してこの方法に拘らないようにする。
- 値段高すぎ
- 今後に向けて進歩的な解決を期待します。
- つりチケで取り扱って頂きたい。
- 抽選とかではなく、以前のように普通に購入できるようになってほしい。
- 希望すれば購入できるようにしていただきたいです。抽選に外れると山梨方面にはやはり釣行回数がかかり減ってしまいますのでよろしく願いいたします。

- 県下共通遊漁承認証は、とても利便性が高く是非継続して頂きたいが金額が少し高いので値上げは止めて欲しいです。これ以上の値上げがあれば各漁協の年券を購入するかもしれません。今年も抽選に外れたら1~2ヶ所の年券を購入予定です。
- 毎年郵送で応募しているが、当たった事がない。使用頻度の低い県外在住者に優先的に当選させれば、結果的に漁協にとっては都合が良いと思いますがどうでしょうか。理由は、使用頻度の低いものが共通券を持つ＝釣り場は荒れない、一方で週末に訪れる為、宿泊などで周囲に金も落とす。使用頻度の高い地元民が共通券を持たない。それぞれの日釣り券または年券を買う事で漁協は潤う、さらに釣り場の過度な荒廃は防げる。
- 平日でほとんどが来店のみでは仕事をしている人間は購入できない。県外者も購入はできない
- 昨今入漁証が多数につき抽選だとかになっているようですが、多くのアングラーに協賛されているということです。ならば、取扱者は対応されたし、一時期減っていた釣り人口が増えているのですから 早急なご対応をお願いします。日頃の各漁協さんに楽しませていただいて、多くの方が協賛しているのですから密猟者をなくすためにもお願いします。 ネットでの手配はできませんか？
- 希望者は買えるようにして欲しい
- 発行枚数を増加していただきたい
- お世話になります。3年前より山梨県で釣りをはじめました、昨年から感じた事はマナー違反、場所取りなど釣りを楽しみにきている人の気分を害する行動が多くみられました。私としては素敵な溪流、湖で気持ちよくつりができれば年券、日釣り券の料金はもっと高くてもいいと思っております。マナー違反などしている人に限って釣券が高いだの釣れないだの言う人です。皆様のおかげで素敵な釣り場があると思っておりますので、毎年料金改定をして枚数を少しずつ増やしていけば良いと感じます。引き続き山梨県での釣りを楽しみにしております。
- 希望者全員購入可能
- 高いです
- 各漁協 C & R 区間とその県下共通専用券があっほしい。
- 店頭販売数枠を、増やしていただきたい。
- いつ発売されるとか事前にわかるようにして欲しい。気が付いたら抽選終わっていて購入の機会すらもらえていない。
- 郵便による抽選で購入できなかったのが不公平感を感じる。抽選で販売する数を前年度の申し込み数ほどは確保してほしい。
- 釣具店で置き置きしてもらって毎回入手している人がいるので絶対に不公平です。ネットで毎年自慢げに披露してるので、検索キーワードを「山梨」、「年券」または「共通」、「入手」または「ゲット」で検索してみてください。それに、6年度の方法では釣具店で入手できなかった人が郵送になだれ込むのもっと不公平感が増すと思います。

- 引き続き昔からのなじみ客に販売できるようにしてほしい”等は、懇意にしている釣人への付度であり全く公平ではない。一部の人間にのみ行き渡るのは真っ当な販売ではなく、公共性のある機関の販売方法ではない。道理の通らない販売方法がまかり通るから、不公平感が生まれている。購入希望者が多いのに行き渡らないのは、漁協の機会損失も大きいと推測される。
- 以前は何の問題もなく郵送サービスで購入していましたが、最近落選することを知り販売店購入を試みて失敗したりしています。ですから購入できた時には異常な喜びを感じます。しかし、その喜びは極めて不自然であると後で気が付きます。郵送サービスに申し込んで落選したり、販売店へ購入に行ったら発売日のうちに売り切れていたり、話を聞けば発売日には開店前から行列ができていたり、内々で予約が取れていて発売日前には既に完売していたりするそうです。このようにして入手不能になることは異常です。入手できなかった悔しさが入手できた時の不自然な喜びを生み出すとはまったく腹立たしいことです。私が入手不可となった場合、自分が行きたい方面を厳選していくつかの漁協の年券を購入しますから、悔しいといっても年間の釣行活動に大きな支障はありませんし、合計金額も共通年券を入手するより安くなります。しかし、山梨県下のどこでも釣りに行けるという非常に大きな魅力を失うこととなります。組合側では共通年券が割安であるかのような言い方で表現していますが、実際に県外から釣りに出かける人にとっては割高です。1年間で全ての漁協管内で何度も釣りに行けるわけがないのですから。割高であってもこの年券を求めようとするのは山梨県下のどこでも釣りに行けるという魅力があるからです。私たちは山梨県の様々な地域へ遊びに出かける喜びを持つわけです。高くてもです。ですから、県外者が共通年券を購入するということは、実際の釣行分より多く費用を組合に払っていることとなります。多くの県外購入者はこのパターンだと思います。割高でもいいから購入しようとしている人に販売しないとはどういう事なのでしょう。はなはだ疑問です。ぜひ考え方を改めてください。
- 発行枚数が少なすぎるのではないのでしょうか、最近の需要を考慮しても良いと思います
- どうして、この寒い時期に5時間も並んで予約しなければならぬのか？このネット社会でやっていることが時代遅れ。駐車場も開いてなく、路駐で近隣に迷惑をかけ、警察が来る始末。枚数制限なんかやめればいい、買いたいときに自由に買えればいいでしょう。日釣りで店が開いてなく券が買えないって現実知ってますか？ネットで買えれば問題なし。
- 共通券は釣り道楽には非常に便利で感謝しています。
- 販売方法は郵送のみでの方法にした方がいいのではよいのではないのでしょうか。
- 販売店からは馴染みの客に販売することがもうすでに決まっていて買えたことがない。クレジットカード、電子マネーでの取扱い。値上げの理由がよくわからない。今までの安価な気もするが
- 2018年に山梨に戻ってきて、2018年度から2020年度の県下共通券を3回購入しました。いずれも個人商店から予約なしで購入してきましたが、2021年からは予約なしでは購入できないような状況となり、その後も当方では購入できませんでした。当方釣りが好きで、釣り場の保全にとっても関心があります。要は今そこにいる魚を娯楽資源として残していきたいということです。よっ

て、共通券を購入する目的としては買ったからにはすべての魚をキープしようというような野心はさらさらありません。共通券購入後の釣行回数も2,3回と金額的には全く割に合わない共通券の購入を実施してきました。これには、日ごろから川と魚の保全に尽力いただいている漁協組合殿への感謝の意を勝手ながら込めさせていただいています。

- エネルギー源高騰の昨今、共通券の値上げは当然との見方もあるとは思いますが、もともと、魚が定着しえないような川に釣りきれるとわかっているニジマスを放流して魚の保全義務としてある現状があることを考えると、値上げという判断は賛同できません。なぜなら、持続可能な本来の魚の保全を考えていけば、放流場所の工夫などやり方を変えていけば遊漁料引き上げなどしなくても魚の保全を増やしていけるからです。富士川など鮎も含めて魚が減少している現状についても遊漁券の値上げでは解決できず、魚が住みたくなくなるような川づくりを分かりやすくまとめ行政に働きかけることが必要だと感じます。また、この値上げについては共通券の需要を下げる狙いもあるかと思えます。各漁協組合からの不満(共通券があるので、各漁協の遊漁券が売れない等)があると思いますが、共通券の購入動機と各漁協の遊漁券を買うかと言ったらそれはまた別の話です。共通券を購入すれば普段は行かないエリアの漁協に釣りに行くことはあっても、共通券が購入できなければ、そのエリアにわざわざ行くことはありません。共通券があるから、その地域へのインバウンドが成り立つことについても丁寧に各漁協に説明頂き、共通券の需要を下げるような値上げは慎んで頂きたく宜しくお願いします。
- 今回の販売方法で良い。漁協、販売店要望メインで良いと思う。売れ残る様になればまた昔の販売方法に戻せば良い。
- ネットでの申し込みを希望
- 山梨県内の釣具店等での販売は、県外者には圧倒的に不利で、予約開始日に電話を入れてもなかなかつながらず、つながっても既に予約枠いっぱいを買えたことがありません。多分なじみの客を優先しているのではないかと想像がつかます。たまたま昨年も漁連の抽選で買うことが出来て、一年間楽しく釣りを楽しむことが出来ました。この時期になると何となく抽選にもれるかな、とか、大変不安な、いやな気持ちになります。漁連の方々の並々ならぬ運営の難しさに、頭が下がります。購入希望者全員が公平感のある安心した方法が見つかるとうれしいです。
- コロナ禍で遊漁の需要が高まったことは大変有り難い事ですが、皆様方が共通遊漁承認証の購入で不公平感を抱くことなく、楽しく釣りが楽しめるように、R6年度からは十分に検討・改善をしたいと考えていますので、ご理解頂ければ有り難く存じます。昨年はHP上でこの様に謳っていましたが今年も全く改善が無かった事は残念です。しかしながら、どうせ何も変える気がないだろうとも思っていました。来年以降は本当に改善するつもりなののでしょうか。甚だ疑問に思っております。
- 昨年度に当方が買えない事をせせら笑う感じで確保している券は懇意にしている釣り人に販売するという事を話していた釣具店があった事を強く覚えております。その釣具店も販売方法は来店のみとなっていますが、まあ嘘でしょう。ああ、既に電話予約している方が来店して販売された場合も「来店での販売」となるのでしょうか。全数の抽選に当たらないなら納得出来ますが、このような状況に憤りを感じている釣り人も多数いる事を考えて早急に改善されることを求めます。

- 全てを抽選とするしか公平性は担保出来ないと考えます。抽選方法を漁協組合内で議論されたらと存じます。
- 抽選はやめてほしい。
- 山梨県下共通遊漁承認証の販売数をふやしてほしい。今年はいつから販売するのかが、不明であり。すでに販売店も売り切れであった。
- 年券を買いたい人全員に買わせて欲しいです。
- 魚券の枚数制限をやめて欲しい
- 従前の通りでいいと思います
- 関東近郊で共通遊漁券がある県は、山梨県だけではないでしょうか。最近インターネットによる遊漁券販売もあるようですが、おそらく少なくない割合で管理会社への支払いが生じるはずです。釣り人としては、支払った遊魚料は全て漁協に入って欲しいと思います。そのため今後も同様に、券という形での販売を望みます。
- 山梨県内でも有名河川であれば、コンビニで遊漁券が買える所もあります。ですがそれは極めて少数で、最近24時間営業でない所も増えました。また桂川のように同一河川でも、複数漁協管理の所もあります。山梨県内在住の方であれば、それでも問題ないかもしれませんが、県外の釣り人は、実質共通遊漁券がなければ山梨に魅力は感じません。何しろ少ない駐車場には山梨ナンバー車が並び、毎日のように釣る人も多い。県外の人が高額な共通遊漁券を買うのは、混んでいたら他に移動できる。遊漁券購入のために遠回りすることも、取扱店の開店を待つ必要も無い。個人宅の遊漁券取扱所を、早朝に訪問する必要も無くなるからです。移動する可能性を考えて異なる漁協の年券を買うなど不可能です。そのため私の場合は、毎年元は取れませんが共通遊漁券を申し込んでいます。そのような中、共通年券を馴染みの客に優先販売する。そんなことをされては、たまったものではありません。
- そもそも遊漁券は、そういった差別的な販売が許されるのでしょうか。釣具屋さんであれば、地元の人で頻繁にくる客に共通遊漁券を売りたい。その気持ちはわかりますが、それは遊魚権を個人の利益に使用する行為と感ずます。県外の人はその移動距離から、宿泊・商店・飲食店・釣具屋等々利用します。一部ではない広域に、かなりの利益をもたらしているはずです。その上で共通遊漁券を購入し、確実に遊魚料を支払っているのです。管理する河川規模や放流魚の量などは、各漁協ごとに大きく変わります。共通遊漁券故に困難も多いと思いますが、ぜひ平等な販売を望みます。
- 初めまして かれこれ甲府に住んで居た頃より 20年以上 県下共通券を利用してきましたが 抽選販売になり 手に入らなくなると山梨への釣行回数が減るでしょうね 自然条件等により 川の移動がしづらくなりますし 山梨県では まだまだ コンビニでの日釣り券の販売やフィッシュパスなどへの対応が不十分であると見受けられます。また 現場における釣り券の確認も ちゃんと監視員が回っている漁協とそうでない所の差が大きいと感じます 監視員がよく回っている漁協さんは 魚の資源管理もしっかりしていると感じます 逆に監視員に会ったことの無い河川も

あります。そういった所は魚影も薄く無券の釣り人も多くレギュレーションも守られていません。地元の釣り人がほとんどです。私もかつて山梨県民だったのでハッキリと言いつけます。

- 私は東京都の者です。山梨県の川なので、他県者への販売は無しで、在住者での抽選が良いと思います。10万の共通券を25万と、安すぎるから起こる問題なので5万に値上げしては？ 年券・日釣り券だけの販売が良いと思います(全員に公平)、超格安な共通券が存在するから欲しがると、全河川に行かれて、場荒れされても困ります。
- ここ4年は予約日が、店舗によってマチマチで購入出来ませんでした。
- 出来るだけの需要に対処してほしいが、現在の値段では難しいと思います
- 毎年郵送で応募させて頂いております。抽選で購入出来ない可能性がある事も理解しております。購入の枠(数)を今年は増やして頂いた事で感謝しております。更なる購入枠(数)を拡大して頂ければ幸いです。
- 競争倍率が高くて購入しにくくなっていますので前年購入者は希望すれば購入出来るようにしていただけると助かります。
- 県下共通券販売にあたり、販売日時や金額を大幅に変更するのであれば告知が遅すぎます。前年度の配布時に来年度からの変更を通知すべきです。※本日まで知りませんでした。販売店には、例年を問わず住所、連絡先を開示しており少なからず令和5年度に共通券を販売した遊漁者には通達すべきです。また、設定金額の妥当性を開示すべきです。需要と供給のバランスがとれていないのは明白ですが、コロナ禍により需要が上がったのに対し金額を上げるのは理不尽です。漁協組合員の人手不足や高齢化が問題になっている事は周知の通りであり山梨県に限ったことではありません。金額の高い安い以前の問題として、山梨県下で遊漁する者が末永く安心安全に釣行できるためである具体的な内訳を開示して下さい。了
- 朝っぱらからガツガツとガッ付く釣りバカが多すぎる。特に中高年のオッサン連中。違法駐車を通報して取り締まりを強化する。
- 郵便での抽選はまだ良いが、販売店は固定の客に優先的に販売しているケースがほとんどで買うことができないのが不公平。小さい釣具屋がほとんどなので仕方が無いといえばそれまでだが、公平性を担保するなら釣具屋での販売は無し全て抽選にすべき
  - ・ 共通年券を購入しても全ての漁協の釣り場ではなく、ある程度決まった川にしかいかない人がほとんど(釣行数が多いから購入する)。抽選に漏れた他県の方は共通年券が無いなら他の県に釣りに行く選択肢ができ、当然、同じような交通費なら色々な川に行きたくなるので共通年券の数を少ない数で限定するのは機会損失になっていると思う
  - ・ 共通年券による経済効果は漁協だけでなく、周辺のコンビニ、飲食店、旅館、ガソリンスタンド、高速代など幅広いものなので、漁協という狭い枠で考えるのはやめてほしい
  - ・ 今時、郵送での抽選は昭和すぎるのでWEB上での抽選か、釣りチケ等のアプリで購入できるようにしてほしい
- ここ4年間、毎年販売方法が変わることに不満を持っています。去年は釣具店の前で早朝より並んでようやく購入出来たのですが、その釣具店が開店前に整理券を配布したため、30人の

定員から外れて並んだ挙げ句購入出来なかった方々が大勢いて、釣具店の主人らが不満を一手に受けなければならなかったのが大変気の毒に思いました。去年は2月15日に発売だったのですが、今年は1月9日に発売となり店頭で買いそびれてしまいました。去年のうちにWebでアナウンスしたとこのとですが、あいにくいつも漁協のWebをチェックする習慣は無く、しかも良く見る河口湖漁協ではこうしたアナウンスは一切無かったのが残念です。

- 希望者は全員購入出来るようにして頂きたい。
- コロナ前まで、3〜4年ほど夫婦で買ってました。県下共通券の販売方法見直しのPDFの内容を読んで、漁協のイメージが良くなりました。関係者間の問題を明らかにした上で、問題を解決していく姿勢は素晴らしいと思います！このGoogleフォームもそうですが、若くて優秀な方を採用されたのかと思いますが、購入期間内に申し込みされた方全員に販売して欲しいです。
- ネットで買えるようにしてほしい

---

## 提案

- 増やしてください
- 共通券は21000円、希望者は全員購入出来るようにし、確実に各漁協に全額分配する。分配比率は別途協議が必要。
- すべての枚数をネットによる申し込み、購入者は、各自自身により印刷し携帯する。
- 予約できる日時をHPなどで明確化してほしい。
- 店頭販売を廃止。すべて抽選(Webで簡単に作成できる)。
- 全て抽選
- 全券ではなく細分化して4漁協共通や地区分けして西と東で分けて2つの共通券を作るなどする。もしくは全国でも無い漁協を選べる共通券などもニーズは高まりそう。その場合の値段設定などは別途考える必要ありだが設定金額によっては各漁協に対しての配当額も上がると思う。
- 理由述べて
- ①年券価格の値上げ:2倍程度への値上げであれば利用者側も許容すべきだと思います。各漁協さんへの分配額も増えます。2倍でも価値を認める利用者は現在の販売数程度はいるのではないのでしょうか。現在の共通券価格では割安に過ぎ、一部の漁協さんからクレームが出るのは当然でしょう。
- ②希望者全員への販売:共通券価格を2倍程度の4万円、5000円を1漁協の鮎除く溪流魚の年券の基準とすると8漁協分です。一般の利用者は仕事を持っており、土日祝日+@の釣行だと考えられますから、8漁協分を渡り歩くことができる人はほとんどいないでしょう。私の経験上は5漁協であってもなかなか通いきれるものではありません。そうすると、4万円で共通券に割安

感を感じる利用者は今ほど多くないでしょう。抽選にして不公平感をあおるより値上げしたうえでの希望者全員への販売をするべきです。

- ③ 県内への限定:①②ができないということなのであれば、私は神奈川県民ですから買えないことになってしまいますが、山梨県在住の方のみに販売されてはいかがでしょうか。少なくとも山梨県在住の魅力の一つとなりますし、県外者としても諦めがつきます。ただ、①②のほうが県全体の年券の売り上げ金額(共通券を含めた)は増え、漁協さんの収入につながるように思いますが。
- ④ 県内漁協の年券価格、サービスの統一:これは本筋から外れますが、まずこれができていなければ共通券の販売を巡って漁協さん間の利害が対立するのは当然だと思います。都留漁協さんは放流量も目立って多く、やはり釣れる印象があります。名前は示しませんが、他の漁協さんは年券は安くても春先放流ただけで、GWを過ぎればまぼ釣りにならないといった川も少なくありません。もちろん放流量だけの問題ではないですし、前者のほうが年券額が高いという事情があるにせよ、このような状況下で県内の漁協さんで話し合いを行ったとしても、まとまるはずがないだろうと感じます。

県内の漁協さんで、共通して最低限これだけはやろうとか、こうしていこうというルール作りをしたうえで、それを維持するために年券はいくらにしなければならぬ、そのうえで初めて共通券をいくらで何枚売っていくらを各漁協に分配するという話になっていくのではないのでしょうか。私は道志川で初めてのヤマメを釣り、それ以来ずっと山梨県で溪流釣りをしてきており、山梨県の川が大好きですが、最近は釣れなくなったなあという印象になりつつあります(単に腕の問題かもしれませんが)。このようなサービスの統一を行うことで、あちこちの川で、どこでもそこそこ釣れるという状態が戻ってこないかなども、と感じています。

勝手なことを書かせていただきましたが、本件がいい方向に進むことを期待していますし、これからも応援しています。

- 販売する数のリミットを無くしていただきたい。
- FISHPASS等スマホのアプリを使った販売を導入するのはいかがでしょうか?釣り人の入っている場所がリアルタイムにわかるようなので、大勢が入るポイントが把握できて漁協にとってもメリットがあると思います。
- 全17漁協の年券を購入される方はまず少なく多くとせいで2~3漁協かだと思います。県下共通遊漁承認証を購入するメリットは自分が今まであまり行かなかった釣り場に行ってみようかな?という気持ちになる地域活性化だと思います。そういう意味でもっと発行枚数を増やして(例えば希望者全員分)各漁協の年券発行枚数が減った分(補填先漁協を購入時に1~2漁協を記入指定)は県下共通遊漁承認証の売上げから補填すれば良いと思います。
- 山梨県の産業と考えて数の制限をやめてはどうか
- 電子年券などあるといいかもです。
- 持ち帰る人とキャッチアンドリリースの人とで金額を変えてはどうか

- 窓口を漁協本部のみ発行方式は郵送のみに限定して、いつでも発行するようにはできると安心できる。
- 公平の観点から、希望者全員購入可能にすべき
- 販売店は県内居住者のみが購入で、県外居住者は郵送抽選でよいです。
- 禁漁期間になった10月以降に抽選日、発売日を事前に告知、チラシ、インターネットなどにも掲載する。
- 金額面での問題があるなら、多少値上げしても郵便抽選の販売数を増やしてほしい。また、フィッシュパス・つりちけ等のネット購入方法を追加してほしい。
- 各漁協経由の申し込みのみにして、申し込み漁協に年券分の配分を優先すれば、共通券が毎日来ているなんてクレームはなくなるのではないのでしょうか。
- 公平に販売出来ない販売店は排除すべきであり、また公平に販売する方法の仕組み作りが必要とみられる。山梨県全域に限らず、区間を限定した年券等。(あるいは数カ所を指定できる等)希望者には全て販売できるよう、金額等含め検討が必要と考えられる。釣り場は限られており、一部の人間が利益があるような販売であれば販売するべきではない。
- 購入希望者には全て販売するようにしてください。
- 発行枚数を増やし、売り上げ金を各漁協に分配するようにしたら良いのでは、中にはこの券の存在を知らない監視員も有り、ここではその券は使えないと言われたことが有ります
- 魚券全般について。米国のやり方。ネット販売(店頭もある)。選択肢多数で自分のスタイルに合わせて購入可能。日釣り、月、1年、2年、3年。金額の違いもある⇒年齢、州在住者(他州の人は割高)、特別魚種、特別地域など。年券は年単位の期限なので、期の途中で買うと損だがいつでも買える。⇒結果、たくさんの方が釣りを楽しんでいる⇒魚券の売り上げも多い。まずは、県を一つの組織での管理体制に変えないと先に進まないだろう
- 共通券はさらに値上げ(30000円から40000円位)して、応募者全員が購入できるようにしてほしいと思います。
- 販売数は現在の10倍でも特に問題ないかと。むしろ時々釣り券を持っていない人を見かけるので、持たせている方がマナーもよくなりそうです。ルールの保持やマナー向上もその方が進みそうですし、今後の検討事案として提案します。
- 公平性の面から全部を抽選とするべきである。
- トラブルがあるなら、全券の廃止。予約者全員に購入の権利へ移行すると地区漁協の収入が減るため好ましくない。※県漁協だけ潤っても…。地区漁協での全券取扱い対応。地区漁協管轄年券、全券の両方を取扱えば、収支での影響は軽減されるのでは？ 値上げをするのであれば、整備へもっと力を入れていただきたい。
- 魚の保全方法の見直し(安易な放流の見直し、魚が持続的に保全できる河川区間の確保)
- 遊漁料の見直し(値下げによる共通券需要の引き上げ)
- ネットで申し込みの上 料金振り込みを希望します

- 共通遊漁承認証の販売による個別の各漁協様への影響も理解できます。公平性の問題もあり、また、将来的に皆が継続して遊漁を継続可能にしていく事を大切に考えるのであれば、共通遊漁承認証の廃止という事も選択肢の一つかと考えます。各釣り人が、個別の各漁協様の日釣券、年券の購入を行い、漁協様の事業継続を支えつつ、釣り人自身も楽しむという方向性です。
- 現状を鑑みて、全数を抽選とするべきだと考えます。
- 魚券を所持していない釣り人は論外ですが、収入面から見れば見廻りを少し強化することは難しいでしょうか。人件費、手間、無用なトラブルを招くことはあり得ますが。また、私はフライをやりますが全てリリースしています。餌釣りの方は小さなサイズでも平気でリザーブし、その場で腑を割いて川を汚している方が多く見受けられます。悲しくて仕方ありません。
- 抽選を続けるくらいなら共通券は廃止のほうが諦めがつく
- 人気があるマラソン大会のように インターネットでの予約がいい。
- 年券を買う人は、モラルや道徳のある人だと思うので全員に買ってもらえる様にして欲しいです。また、何処の釣具店でも販売して欲しいです。
- 県下魚券の収入の何%かを各漁協への分配を提案
- 湖沼は含まなくてもいいのでは？ と思いますが
- 共通遊漁券は全て、山梨県魚連への郵送申し込みによる抽選販売とする。釣具屋や商店などでの共通遊漁券販売を禁止、近隣河川の年券のみ販売とする。
- 県下共通券の枚数制限に伴い 各漁協さんからの直接購入額がどれくらいどの位増えたのか。しっかりと精査する必要性が有り 入漁券の販売もコンビニ フィッシュパス等 24 時間何時でも購入できるシステムの拡大が必須だと考えます。東北などでも 県下共通券の導入が増えているのは こういった入漁券の入手のしづらさが原因ではないかと思えます。
- ①共通券の廃止(購入出来ない妬み含み)、②山梨県在住者のみ抽選、③共通券の値上げ
- もう少し共通券の発行を増やしてもいいのでは？200→300
- 出来るだけ多くの共通券の発行を望みますが、それによってマナーの悪い釣り人が増えるのが心配です。現状でも、解禁日に魚が見えず、地元で人が釣ってしまいいいよ・解禁前につってしまうなどマナー向上が問題と思います。楽しい釣りをしましょう。
- 今回、直前に大幅な変更を実施されたことで大勢の遊漁者より不平不満がでることは避けられません。設定金額も決して安価な設定とは言えない金額となりましたので一度、販売枚数を限定解除して真の需要と供給を確認して下さい。※販売期間のみ設ける
- 共通券など廃止で良い。
- 釣具屋での販売を中止し WEB 上での抽選販売、もしくは限定ではなくす。どうしても限定する必要があるなら枠は増やし WEB もしくはアプリでの販売にする。インターネットに弱いお年寄りも溪流釣りには多いので郵便での抽選を残すのは有り。成魚放流の費用が高いなら稚魚のみにして漁協のコスト削減するのは良いのでは？ 近年では放流しない方が魚が増えるというデータも

あるので試してみるのには有りだと思ふ。放流場所で放流日に餌釣りで乱獲するから人気がなくなっていくので放流日、放流場所は公開せずに運営すれば魚も残るし共通年券を増やしても問題は起きないと思ふ。乱獲したい人のために放流して…という考え方もあるのかもしれないが、将来的に見ても愚策だと思ふ。

- 今年の販売方法は販売元でまちまちです。電話予約だけで買えるところもあるのですが、店頭予約だけの所がほとんどです。まずは、こうした不公平を無くしていただきたいです。全ての販売店で電話予約が可能であれば公平になります。メールなどを使えない人も多いので Web 予約は不可能なのだと思いますが、電話なら可能だと思います。しかし、こうした場合、電話が繋がらないことが予想されます。店頭売りですと早朝より開店前に大勢の人達が並ぶことにより周囲に迷惑をかけています。結論として全て公平にするには「郵送での受付」のみに絞り込んだ方が公平だと思います。引き換えだけ、現在の販売店にすれば混乱は無くなると思います。
- 販売数が増えれば、各漁協に配当できる金額も増えるのではないか。
- 全漁協の年券購入費の半分くらいの値段まで、何年か掛けて上げていき、発行の上限数を撤回しても良いのでは？と思います。一方で、リピート割として、連続して買い続けてくれている釣り人には、3年5年10年といった単位で値引きをする

3年連続購入は5000円引き、5年連続購入は1万円引、10年連続購入は2万円引  
例として以下のように値上げをしたとします

2024年 定価 25,000、2025年 定価 30,000、2026年 定価 35,000、2027年 定価 40,000、2028年 定価 45,000、2029年 定価 50,000、2030年以降 定価 50,000

2024年から毎年購入する釣り人のリピート年数を適用した価格表が以下になります

2024年 定価購入 25,000、2025年 定価購入 30,000、2026年 リピート価格 30,000、2027年 リピート価格 35,000、2028年 リピート価格 35,000、2029年 リピート価格 40,000、～2034年 リピート価格 30,000

もちろん、今までの購入履歴は漁協でも把握されていなかったと記憶していますので、今まで20年間買われてる方も、今年からの方も同時スタートになってしまいますが、また、寄付枠の検討も良いかと思ふ。毎年、クラウドファンディングを行い、10万円以上なら県下共通券付き、というのもありかなと思ふ！クラウドファンディング等でお金を集めると、そんなに金が欲しいのか！という批判が来るかと思ふますが、正直国内の釣り産業衰退していますし、20代で釣りにお金を掛けれる若者は居ませんし、少ない釣りユーザーによって、釣り産業を支えないといけない以上、一人当たりの負荷金額が上がることは仕方のない事だと思ふ。

- 皆んなが魚を持ち帰るわけではないので、キャッチ&リリース券とかもあつたら良いと思ふ。違反者にはそれなりの罰則を作るとか。
- フィッシュパスやつりチケの導入を早く